

(別添)

三宿病院 公的医療機関等2025プラン

平成29年 9月 策定

【三宿病院の基本情報】

医療機関名：国家公務員共済組合連合会 三宿病院

開設主体：国家公務員共済組合連合会

所在地：東京都目黒区上目黒5丁目33番12号

許可病床数：244床

（病床の種別）一般病床（206床）、療養病床（38床）

（病床機能別）高度急性期機能（12床）

急性期機能（194床）

回復期機能（床）

慢性期機能（38床）

稼働病床数：

（病床の種別）・一般病床（206床）

・療養病床（38床）

（病床機能別）・高度急性期（12床）

・急性期（194床）

・慢性期（38床）

診療科目：内科、消化器科、呼吸器科、循環器科、内分泌代謝科、血液内科、神経内科
神経科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科
眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、放射線科、麻酔科、歯科
リハビリテーション科

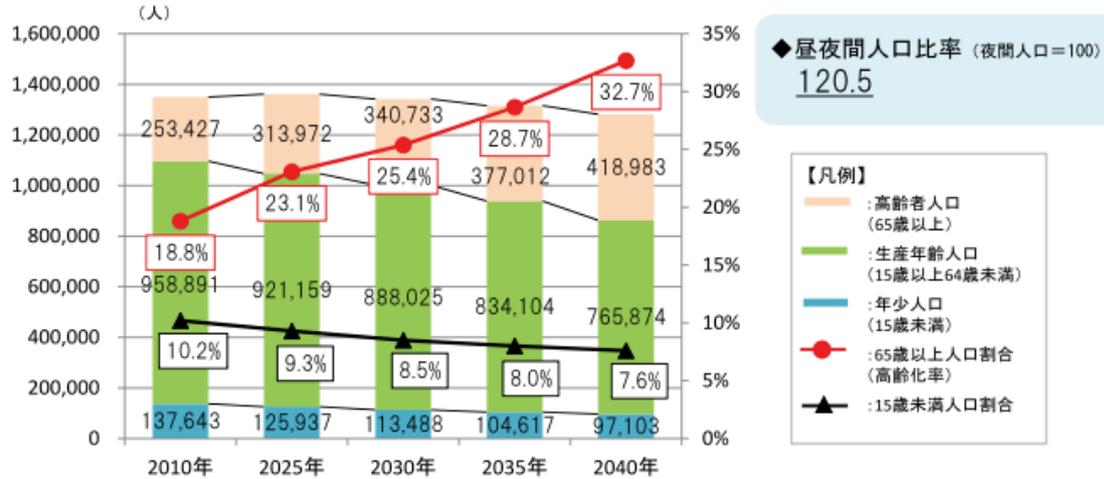
職員数：

- ・ 医師 : 35.0名
- ・ 看護職員 : 200.4名
- ・ 専門職 : 97.2名
- ・ 事務職員 : 25.4名 (H29.9.1現在)

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

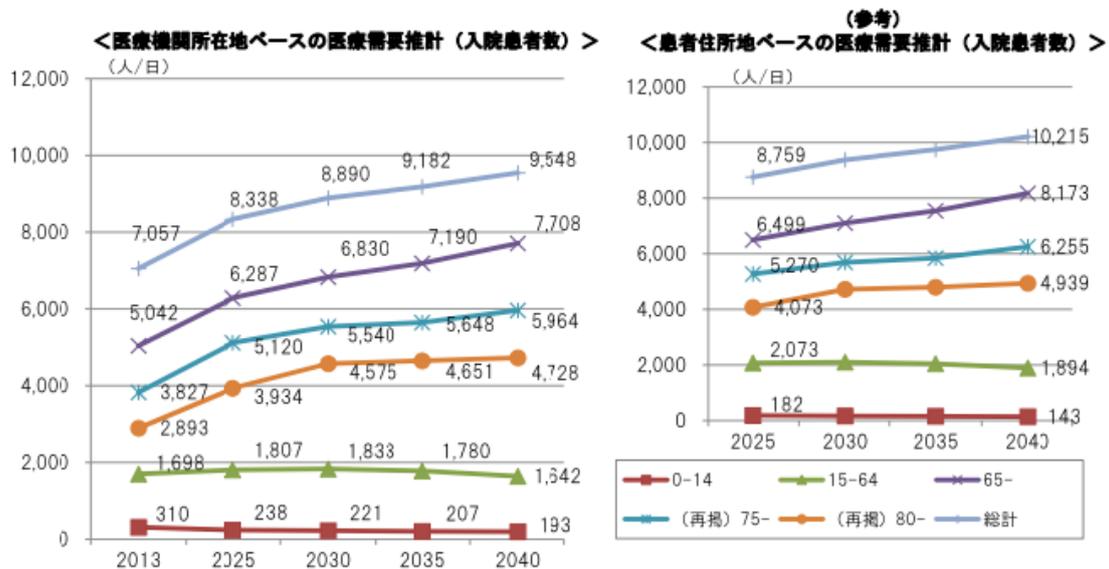
- ・ 将来推計人口は、2025年をピークに以降の減少が見込まれる。
- ・ しかし、65歳以上人口は増加を続けると見られ、医療需要は増加が見込まれる。



◆高齢者のみ世帯の状況 (2010年)

高齢者単独世帯数 (全世帯に占める割合)	65,691世帯 (9.3%)
高齢者夫婦世帯数※ (全世帯に占める割合)	46,768世帯 (6.6%)

※夫65歳以上、妻60歳以上



注 平成25年 (2013年) における医療需要は、医療機関所在地ベースにて算出されるため、患者住所地ベースの医療需要推計は平成37年 (2025年) 以降を掲載

・ 構想区域の特徴

【高度急性期機能】

- ・ 自構想区域完結率は56.3%であるが、都内近隣区域を含めると91.6%で都内で最も高い。
- ・ 隣接する構想区域には、高度急性期機能が集積

【急性期機能】高度急性期

- ・ 自構想区域完結率は62.3%だが、都内隣接区域を含めると91.3%と高い。
- ・ 高度急性期機能から継続して入院している患者も含め、隣接区域への流出が多い。

【回復期機能】

- ・ 自構想区域完結率は61.4%だが、都内隣接区域を含めると88.0%。
- ・ 人口10万人当たりの回復期リハビリテーション病床数は、都平均の約8割と若干少ない。
- ・ 流出患者数と流入患者数がほぼ均衡しており、流入出の傾向は急性期機能と同様。

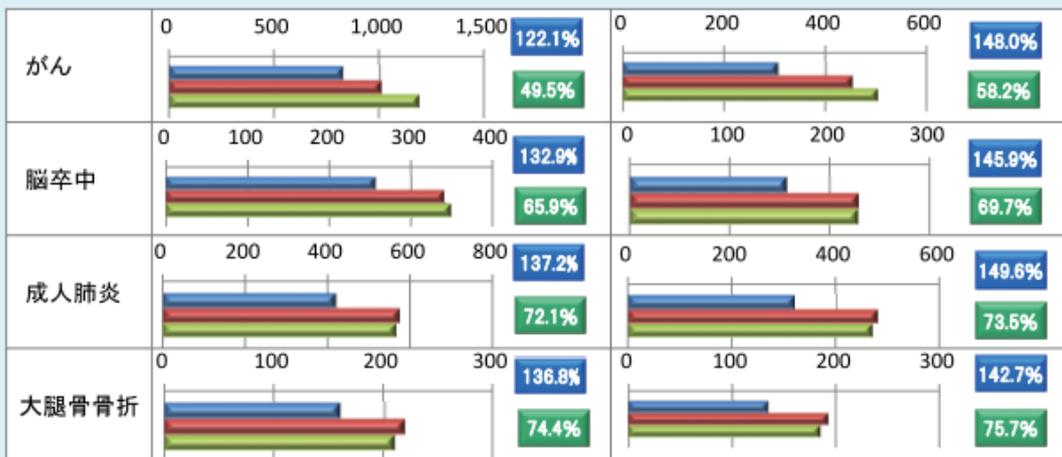
【慢性期機能】

- ・ 高齢者人口10万人当たりの医療療養病床数、介護療養病床数ともに都平均の約8割。
- ・ 区西部や神奈川県との間での流出と流入がともに多い。

② 構想区域の課題

- ・ 高度急性期、救急、災害医療を担う医療機関は渋谷区を中心とした東部側に集中しており、二次医療圏内で医療資源の偏在が生じている
- ・ がん患者の流出が高い(自構想区域完結率が低い)
- ・ 2040年に向けて在宅看取りが増えると予想されるが、それを支える在宅医・訪問看護ステーションが足りない。

主要疾患別にみた患者の伸び率と自構想区域完結率（2025年）【グラフ左側：全年齢／右側：75歳以上】



【凡例】

- 2013年医療機関所在地ベースの患者数(人/日)
- 2025年医療機関所在地ベースの患者数(人/日)
- 2025年患者住所地ベースの患者数(人/日)

患者伸び率

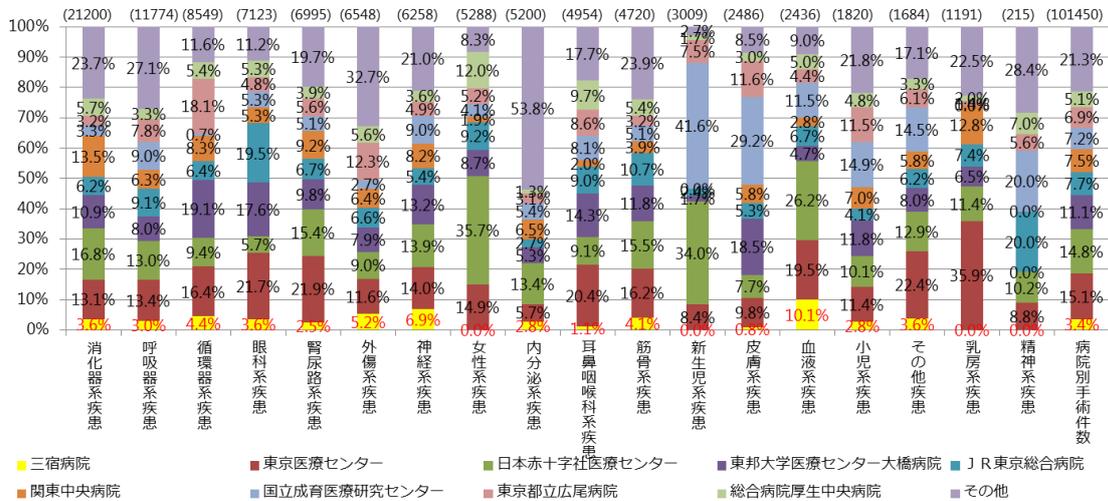
自構想区域完結率

③ 自施設の現状

- ・当院は、一般急性期の他に療養病棟及び訪問看護ステーションを有し、急性期から慢性期、在宅までの医療に対応し、地域医療への貢献を果たしている。
- ・救急医療においては脳神経外科、循環器科の365日24時間診療体制を取っている。
- ・当院の区西南部 MDC 別シェア率は、合計では 3.4% であり、二次医療圏の DPC 病床数に占める当院の DPC 病床数の割合 3.6% (DPC 病床割合) を下回っている。疾患別では、外傷系 (5.2%)、神経系 (6.9%)、血液系 (10.1%) 等のシェア率が比較的高い。

区西南部医療圏のMDC別患者件数割合

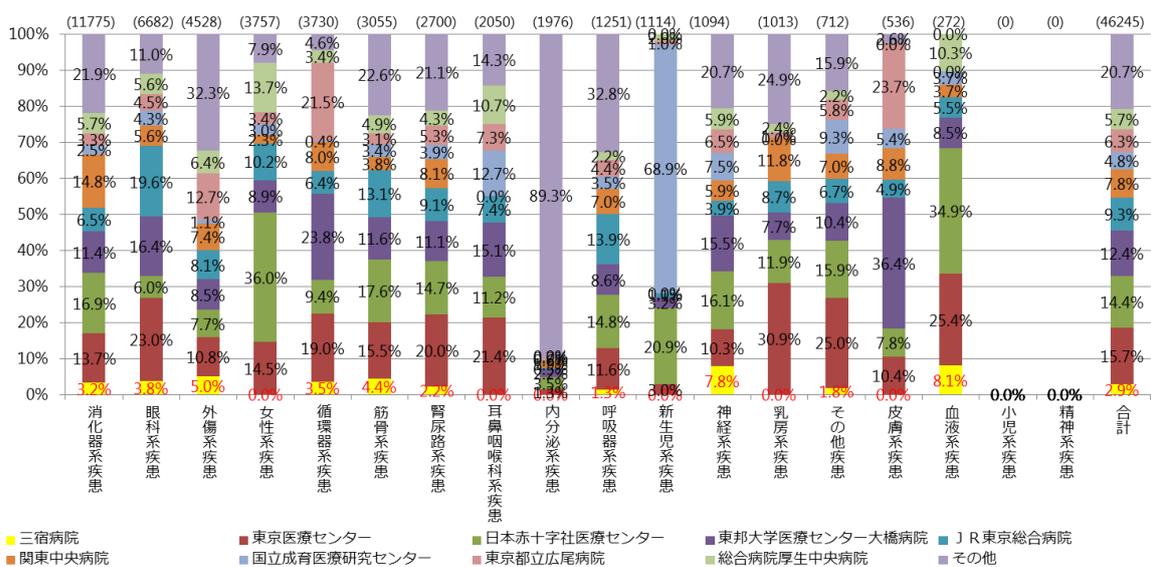
※()内の数字は患者数を記載



- ・手術ありの合計シェア率は 2.9% で、DPC 病床割合を下回っている。疾患別では、外傷系 (5.0%)、神経系 (7.8%)、血液系 (8.1%) 等のシェア率が比較的高い。

区西南部医療圏のMDC別入院件数シェア率(手術あり)

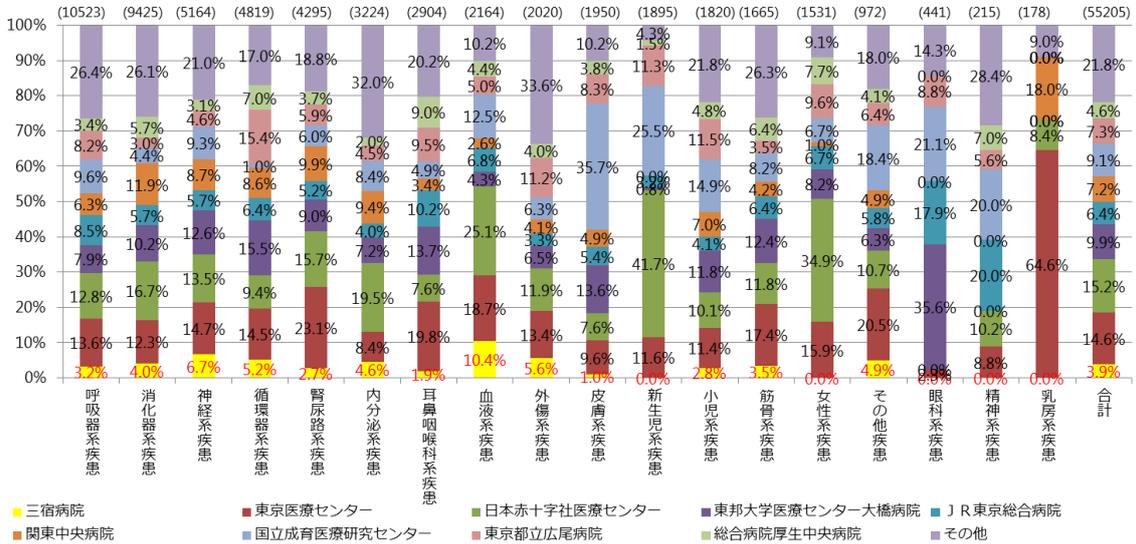
※()内の数字は患者数を記載



- ・手術なしの合計シェア率は3.9%で、DPC病床割合を上回っている。疾患別では、神経系(6.7%)、循環器系(5.2%)、血液系(10.4%)、外傷系(5.6%)等のシェア率が比較的高い。

区西南部医療圏のMDC別入院件数シェア率(手術なし)

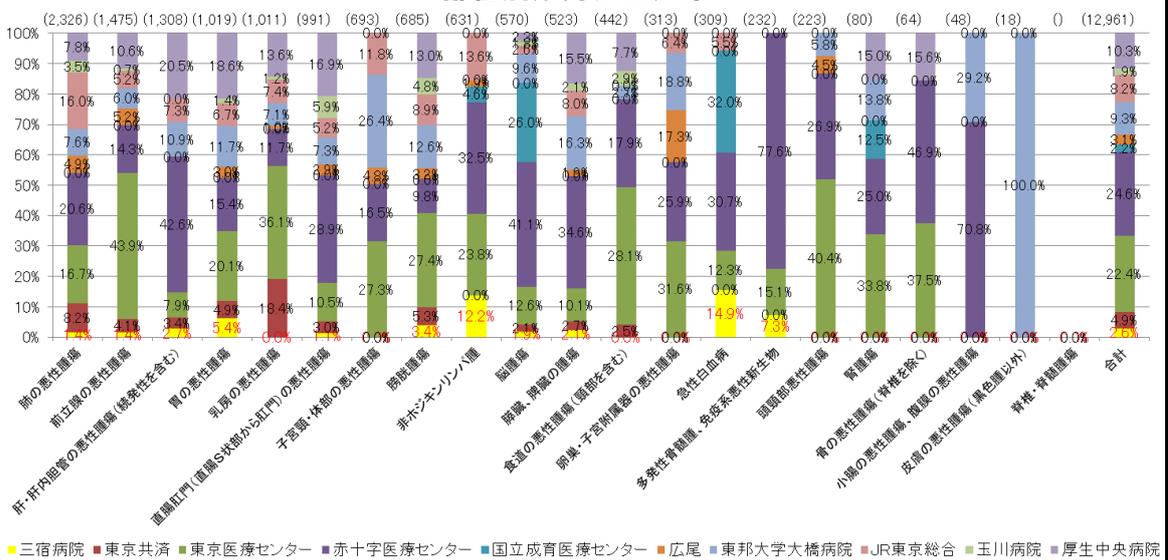
※()内の数字は患者数を記載



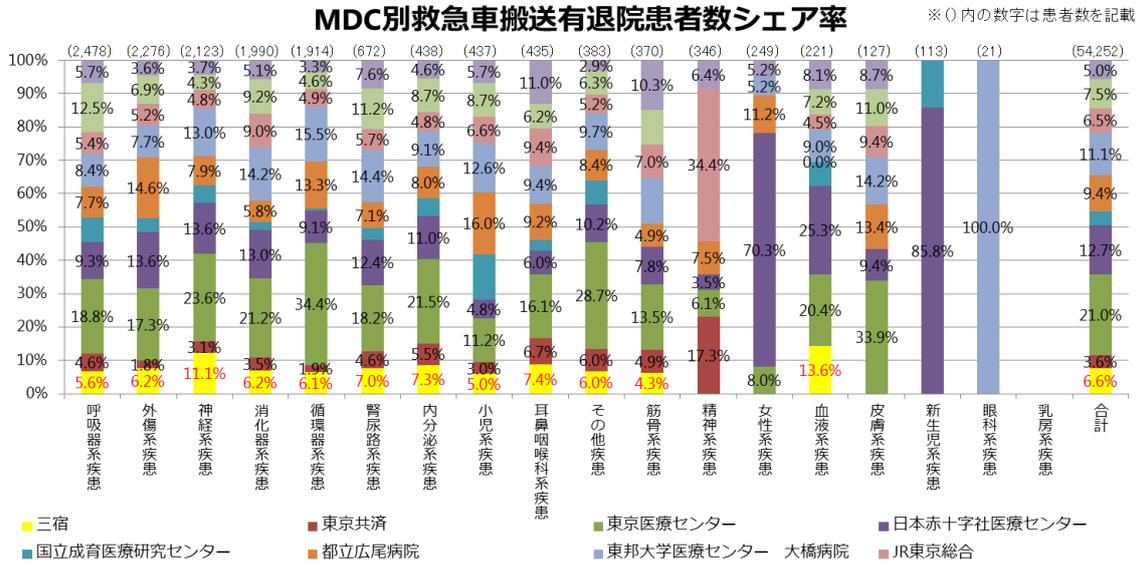
- ・当院の区西南部MDC別部位別がんシェア率は、合計では2.6%であり、DPC病床割合を下回っている。部位別では、胃(5.4%)、非ホジキンリンパ腫(12.2%)、急性白血病(14.9%)、多発性骨髄腫(7.3%)等のシェア率が高い。

部位別がんシェア率

※()内の数字は患者数を記載



- ・ 当院の区西南部MDC別救急車搬送有退院患者数シェア率は、合計では6.6%であり、DPC病床割合を上回っている。MDC別では、神経系疾患(11.1%)、腎尿路系疾患(7.0%)、内分泌系疾患(7.3%)、血液系疾患(13.6%)等のシェア率が高い。



④ 自施設の課題

- ・ 次期改定で入院基本料(7:1)の要件がさらに厳しくなることが予想されることから、受け皿となる機能の病棟の検討が必要である。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

- ・ 地域における中核病院として、2次救急機能を維持し、SCU12床を有する脳神経外科疾患及びCCUネットワークに加盟している循環器疾患の対応を中心とした急性期医療の提供体制を維持していく。
- ・ 今後、高齢者が増加していく中、目黒区認知症疾患医療センターとして区内の認知症診療の中心的役割を今後も果たしていく。区内のみならず、区西南部の認知症診療の中心として、開業医、介護職、行政などの様々な職種と連携を深めていくとともに、患者さんのご家族等との会なども継続的に実施していく。
- ・ 脳卒中パス、大腿骨頸部骨折パス、認知症パス等をさらに推進していく。
- ・ 血液内科を標榜していることから、造血器腫瘍（白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など）等や、指定難病である再生不良性貧血や特発性血小板減少性紫斑病の診断や治療を積極的に担う。
- ・ かかりつけ医との連携の更なる強化。
- ・ 今後回復期の機能も検討し、院内のみならず他急性期医療機関の受け皿にもなり、地域における回復期機能の一躍を担う。

② 今後持つべき病床機能

- ・ 現在の急性期病棟は一定程度維持する必要があるが、規模の適正化を検討する。
- ・ サブアキュート及びポストアキュート機能を担う回復期機能を提供する病棟の整備について検討する。
- ・ 地域の需要等も鑑み、今後医療型療養病棟あり方について検討し、維持するかまたは病床機能を変更するか検討する。

③ その他見直すべき点

- ・ 医療機関全体として、病床利用率が低下傾向であり、今後の医療需要の推移を加味して、最適な病床規模について検討する。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	12床	→	12床
急性期	194床		146床
回復期			86床
慢性期	38床		
(合計)	244床		244床

<具体的な方針及び整備計画>

- ・ 地域に不足する回復期機能を提供するため、一部急性期から回復期に変更を予定
- ・ 医療型療養病棟あり方について検討し、存続させるかまたは病床機能を変更するか検討

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	○合意形成に向けた協議	○自院の今後の病床のあり方を決定(本プラン策定)	集中的な検討を促進 2年間程度で
2018年度	○地域医療構想調整会議における医療型療養病棟のあり方について合意形成に向け検討	○地域包括ケア病棟稼働 ○地域医療構想調整会議において自院の医療型療養病床のあり方に関する合意を得る	
2019～2020年度	○具体的な病床整備計画を策定		第7期 介護保険 事業計画
2021～2023年度		○2022年度までに新病棟稼働	第7次医療計画 第8期 介護保険 事業計画

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

<p><u>医療提供に関する項目</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病床稼働率：一般85%、回復期80%、療養80% ・ 手術室稼働率：30% ・ 紹介率：65% ・ 逆紹介率：45% <p><u>経営に関する項目*</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費率： ・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合： <p>その他：</p>
--

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)

--